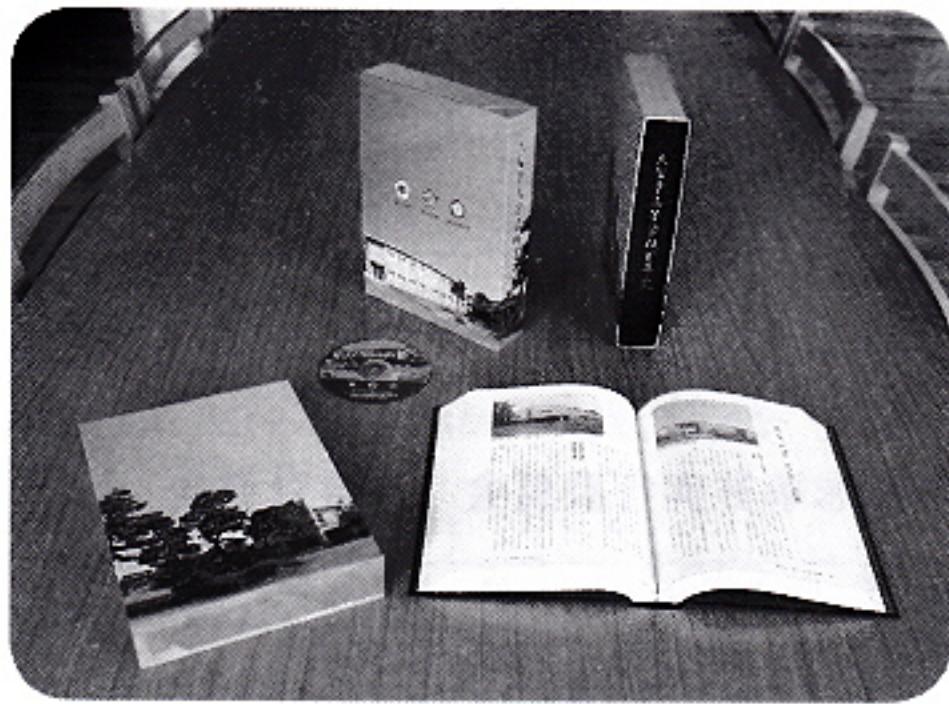


石川県立大聖寺高等学校

同窓会会報

発行 石川県立大聖寺高等学校同窓会 <TEL 0761-73-2771> <FAX 0761-75-7117>
 <E-mail seikobog@dsjhs.jp>



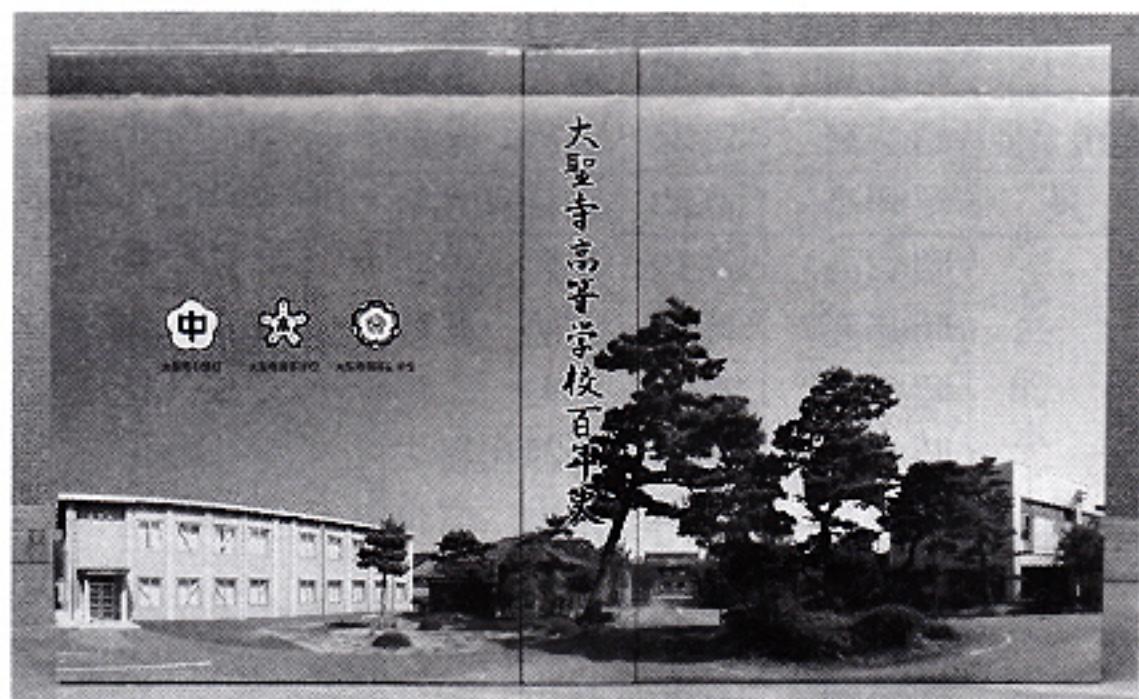
大聖寺高等学校百年史



百年史を前に



新聞社による取材



前庭風景の箱写真

**大聖寺高等学校百年史
発行される！**

昨年開催された創立百周年記念事業も無事に終わり、本年度の総会にてようやく決算も終了しました。懸案事項であつた百年史も本年十一月にできあがり、三万円以上ご寄付頂いた方にお配りしました。

今回の百年史作成の遅延につきましては、百年に一度の事業であり、資料の厳選と内容の充実・正確さを求めるあまり、このようないい時期になりましたことを深くお詫び申し上げます。

時間がかかった分、すばらしい内容になつたと自負しております。内容は全七章の通史編と史料編の二部で構成され、通史編では南加賀の初等、中等教育の歩みから始まり、戦中戦後の学校変遷、戦後の大聖寺高校誕生とその発展が詳述されています。各ページには写真や図表が多く用され、読みやすいものとなっています。また、五十年史と七十年史に収録された回想に新たな回想を加えてCD化し、付録としてあります。

若干残部がございます。ご希望の方は有料にてお分け致します。同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

また、来年七月に会員名簿の発行を予定しております。業者（サラト）に委託しておりますが、名簿の購入、賛助金、賛助広告のご協力よろしくお願ひ致します。

同窓会の運営について

同窓会の活性化を目指して、来年度総会の実施における、本年八月の総会で以下の点が確認されました。

(1) 理事会・総会

- 七月に正副会長会および理事会を行い、総会開催日を八月第二土曜日とする。
- 総合宴会場で総会と懇親会を行う。

運営は毎年32歳の主幹事と31歳、30歳の副幹事の学年幹事(16名×3学年)が当たる。

理事には葉書で出席確認を行い、他は電話申し込みとする。

(2) 同窓会報

- 発行は七月上旬一回とし、総会要項と学年幹事名を載せ、総会への出席を募る。
- 発行回数は予算付けが可能になれば、今後二回発行も検討する。

この決定に基づき、事務局では来年度の総会に向け準備を進めております。平成二十四年度総会および懇親会は八月十一日(土)長生殿にて開催予定です。

来年度の幹事の方々(敬称略)

	主幹事 平成8年卒	副幹事 平成9年卒	副幹事 平成10年卒
1 H	日輪 道明 西出 有希子	岩城 博之 河崎 真紗美	奈良本 篤史 東野 未知
2 H	上田 修嗣 佐々木 瞳	林 卓真 荒木 千恵子	中筋 善広 坂井 里美
3 H	西出 慎治 田中 栄日	末釜 瞳 中谷 隆佳	前田 浩之 小山 佳代
4 H	河野 真弘 三昧 美帆子	川北 成一 西野 友子	津原 孝佳 長岡 宏美
5 H	南出 進 松元 めぐみ	我戸 亮介 牧野 容子	清水 洋介 野中 章代
6 H	西村 隆廣 菅村 恵	上木 孝久 宮 韶子	山川 幸一 西 晶子
7 H	三代 健一郎 錢丸 歩美	宮本 敬司 江田 直美	山本 友範 藤沢 留美
8 H	掛山 拓朗 坂本 由紀	小谷 正行 本山 敦子	塚本 泰央 初坂 奈津子

*名前は卒業時の名前で表記しています。

*事前に電話連絡が取れなかった方が含まれています。ご了承下さい。

*平成25年度はH9、H10、H11年卒業の方にと、以降順送りでお願いする予定です。

来年度総会はこの方々が中心に運営を行います。この方々より協力依頼、参加依頼がありましたら、ぜひご協力、ご参加をお願いいたします。

第63回 南加賀地区中学校英語暗唱大会

「英語暗唱大会で学んだ大切なこと」

三年の部優勝 中出 彩香(東和中学)

私は一年生の時にも一度この大会に出たことがあります。その時にも多くの大切なことを学びました。そして、三年になってまた練習を重ねたり本番でいろいろ人の発表を聞いてさらに多くの大切なことを学びました。

私は最初の頃、練習をしても自信を持つことができませんでした。しかし、学校でも家でも毎日イントネーションや発音の練習をしました。だから、本番で堂々と自信を持って発表することができます。私は今までの練習がなれば本番でうまく話せなかつたと思いました。だから、努力をしないで良い結果は生まれないのだと思いました。

次に恥ずかしがらずに話すことです。私のスピーチには感情を入れて話す部分がありました。練習では恥ずかしいと思つていました。しかし、本番で他校のいろいろな人の発表を聞いたとき、恥ずかしがらずに堂々と話している人の発表は聞きやすく、話の内容がどんどん伝わってきました。このことから堂々と恥ずかしがらず、相手に伝えようとする事が大切だと思いました。だから私はライバルに負けないために恥ずかしがらずに発表しました。そうしたことでも良い発表をすることができたと思います。

私はこれからを生きていく上で、今回経験したことを生かして、何事も最後を笑つて終わらせるようにしたいです。どんなにつらくてもあきらめず努力を重ね、自分に自信を持つていこうと思います。そして、最後に英語暗唱大会を聞いて下さった大聖寺高校の先生方、同窓会の皆様、そのほか多くの方々に感謝しています。ありがとうございました。



会場のようす▶



▲入賞者の皆さん



退任のご挨拶

下□幸雄

去る平成二十三年八月の同窓会総会に於いて、次期会長に天日喜代治副会長をご推挙申し上げ、全会一致でご承認を戴きました。心より感謝申し上げます。

る発展を願つて止みません。

最後になりましたが、東京、近畿
東海、金沢、福井、小松の各聖高会
をはじめ、全国の同窓の皆様に心よ
りお礼申し上げると共に、皆々様の
ご健勝とご隆昌をお祈り申し上げて
退任のご挨拶と致します。



新任のご挨拶

思っております。今後も同窓会のため
にご助言、ご協力下さるようお願ひ
申し上げます。

◆平成二十三年十一月十七日(木)「大聖寺高等学校百年史」をありがたく拝受致しました。あまりにも立派な記念誌なので大いに驚きました。編集された方々のご苦労に対し、深甚の敬意と謝辞を呈する次第です。今後も我が母校が石川県No.1になることを祈り、信じたい念です。事務局皆様のご多幸を心からお祈り致します。

◆謹んでご挨拶申し上げます、本日は「大聖寺高等学校百年史」をお贈り頂きましたことに有りがとうございまし

た。立派なご本が出来上がりつて我が家の大切な宝物としてうれしく存じて居ります。皆様のご苦労に厚く御礼申し上げます。お寒さに向かいますから皆様御身大切になさつて下さいませ。

まずは御礼まで。 かしこ

江端 赤子（多摩市在住 晴19女卒）
ご丁寧なお礼状ありがとうございます。

発行が遅れましたが、関係者として報われた気が致します。今後も母校を暖かく見守つていただき、時にエールを送つていただければと思ひます。（事務局鳴塗）

終身会費納入者

平成二十三年四月以降の納入者は次の方々でした。ここにご芳名を記載いたします。ありがとうございました。

中学校 昭和9年卒 北市武治さん
高等学校 昭和46年卒 浅野清利さん

お礼状の紹介

百年史を送付後、お礼状をいただきましたので紹介します。

◆平成二十三年十一月十七日(木)「大聖寺高等学校百年史」をありがたく拝受致しました。あまりにも立派な記念誌なので大いに驚きました。編集された方々のご苦労に対し、深甚の敬意と謝辞を呈する次第です。今後も我が母校が石川県No.1になることを祈り、信じたい念です。事務局皆様のご多幸を心からお祈り致します。

豊田 久承(鎌倉市在住 昭15卒)

◆謹んでご挨拶申し上げます、本日は「大聖寺高等学校百年史」をお贈り頂きました。立派なご本が出来上がって我が家の大切な宝物としてうれしく存じて居ります。皆様のご苦労に厚く御礼申し上げます。お寒さに向かいますから皆様御身大切になさって下さいませ。

まずは御礼まで。

かしこ

江端 恭子(多摩市在住 昭19卒)

ご丁寧なお礼状ありがとうございます。発行が遅れましたが、関係者として報われた気が致します。今後も母校を暖かく見守つていただき、時にエールを送つていただければと思います。(事務局鴻埜)